

CANOX

第90期 株主通信

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

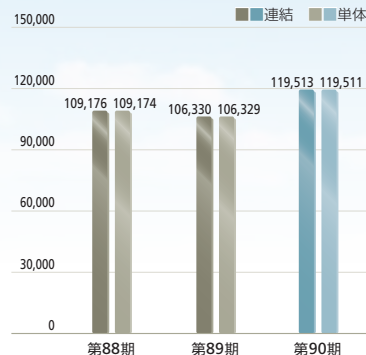
株式会社 カノクス

証券コード：8076

決算ハイライト

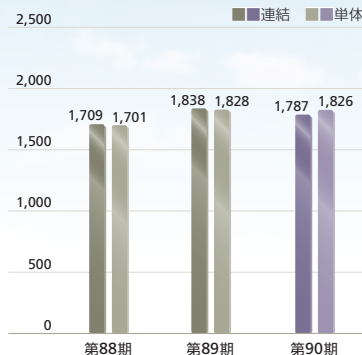
売上高

(単位：百万円)



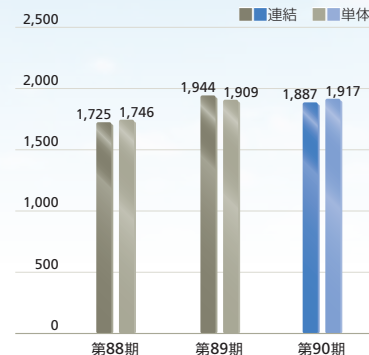
営業利益

(単位：百万円)



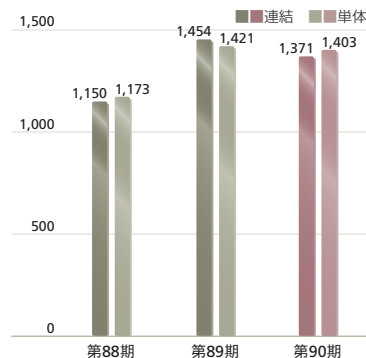
経常利益

(単位：百万円)



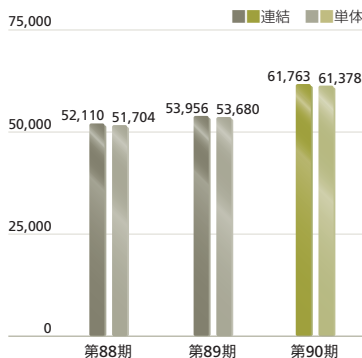
親会社株主に帰属する当期純利益 (連結) 当期純利益 (単体)

(単位：百万円)



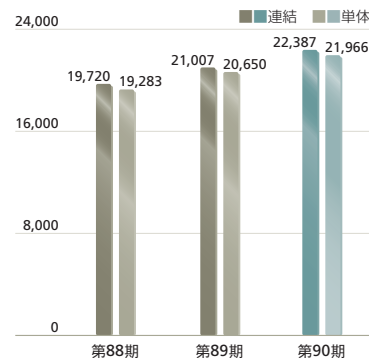
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



Contents

- ▶ 決算ハイライト 01
- ▶ 株主の皆様へ 02
- ▶ 主な取扱品目 03
- ▶ 連結財務諸表 05
- ▶ 個別財務諸表 07
- ▶ 事業ネットワーク 08
- ▶ 会社概要 09
- ▶ 株式の状況 10

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第90期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）が終了しましたので、一言ご挨拶申し上げます。

平成30年6月



代表取締役社長 高木 清秀

第91期（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）見通しについて

今後の景気の見通しにつきましては、高水準の企業収益を背景に設備投資が堅調に推移することが見込まれますが、人件費や原材料費の増加に伴い企業収益の増益率は鈍化し、また設備投資の伸びは頭打ちになることが予想されます。このような中、当社は経営理念であります「お客様から第一に求められる企業になる」ことに更に力を注ぎ経営基盤を強化し「収益力の強化」、また事業領域の拡大や業務の効率化により「企業価値の向上」を図ってまいります。

今期の業績につきましては、売上高1,227億73百万円、営業利益16億85百万円、経常利益17億55百万円、親会社株主に帰属する当期純利益12億6百万円を見込んでおります。

将来に向けた活動について

当社は昨年12月に創業120周年を迎えました。今後もますます高い企業価値を有する鉄鋼商社となるべくお客様とともに、事業領域の拡大、また既存事業の基盤強化し、社内では構造改革の実行、人材育成の強化をはかってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

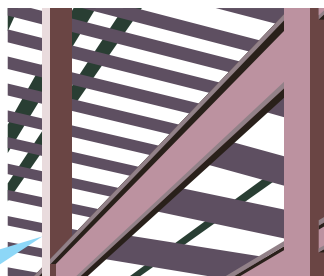
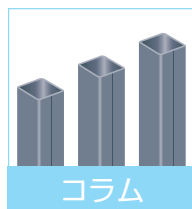
▶ 主な取扱品目

品 種 別 売 上

鋼 管 215億44百万円 18.1%

一般的には、建築資材や機械部品に用いられるものや、ガスや水を通すパイプなど多種多様な用途に用いられるものがあります。

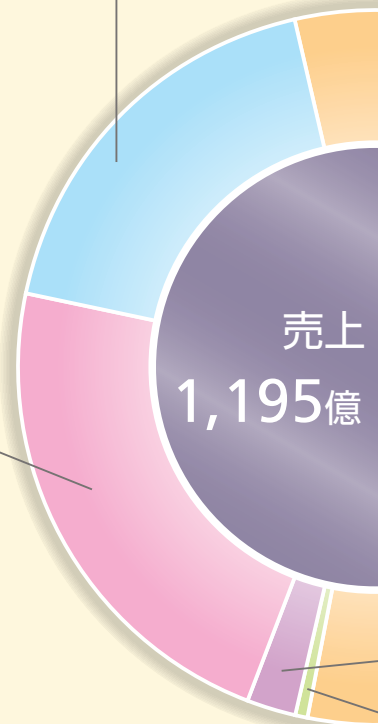
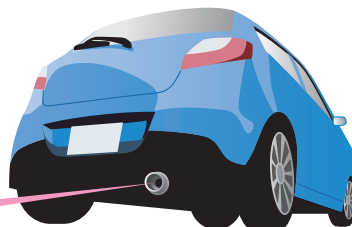
当社でも、さまざまな製品の材料として切断等の加工を施し販売しており、主なものには、自動車の座席シートまわりの部品や、建物の骨格として使用される角型鋼管(コラム)等の材料があります。



ステンレス等 267億7百万円 22.3%

ステンレス鋼は錆を防ぐためのめっきや塗装をしなくても済み、耐食性に優れています。屋外や湿気のある場所での使用、例えば構造物や鉄道車両の外表面、自動車部品などの様々な分野に用いられております。

当社では主に自動車の排気系部品に使われる材料などを扱っており、主力商品のひとつとなっております。



高構成比

高
13百万円

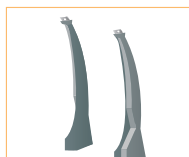
鋼板	681億20百万円	57.0%
----	-----------	-------

自動車・船舶・鉄道車両・建築物・海洋構造物の部材など非常に幅広い分野で使用されている材料です。

当社では主に自動車部品や鉄製シャッターなどに使用される薄板を中心に、鉄鋼メーカーより購入した材料をお客さまからご要望頂いた寸法に加工を施し販売しております。



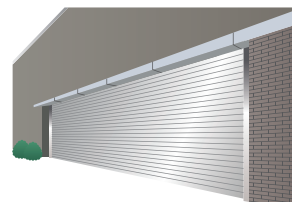
フロントピラー



センターピラー



ドアビーム



シャッター

条鋼	26億29百万円	2.2%
----	----------	------

建築用の構造材などに使用される型鋼や、コンクリートの補強用などに使用される棒鋼、土砂崩れを抑えるために使用される鋼矢板など、主に土木・建築用途に使用されている材料です。

その他	5億11百万円	0.4%
-----	---------	------

▶ 連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当期	前期
	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1 資産の部		
流動資産	51,883	44,655
固定資産	9,853	9,267
有形固定資産	3,948	3,859
無形固定資産	26	77
投資その他の資産	5,877	5,330
繰延資産	26	33
資産合計	61,763	53,956
2 負債の部		
流動負債	33,952	26,673
固定負債	5,423	6,275
負債合計	39,375	32,949
3 純資産の部		
株主資本	18,951	17,984
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	15,085	14,118
自己株式	△246	△246
その他の包括利益累計額	3,436	3,023
その他有価証券評価差額金	2,777	2,416
土地再評価差額金	755	799
退職給付に係る調整累計額	△96	△193
純資産合計	22,387	21,007
負債及び純資産合計	61,763	53,956

〇 前期比較

① 資産の部

当期末の総資産は617億63百万円となり、前期末に比べ78億7百万円増加しました。主な要因は、売上債権の増加、商品の増加などでありませ

② 負債の部

当期末の負債は393億75百万円となり、前期末に比べ64億26百万円増加しました。主な要因は、仕入債務の増加などでありませ

③ 純資産の部

当期末における純資産は223億87百万円となり、前期末に比べ13億80百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上13億71百万円などでありませ

連結損益計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
4 売上高	119,513	106,330
売上原価	113,378	100,331
売上総利益	6,134	5,999
販売費及び一般管理費	4,346	4,160
4 営業利益	1,787	1,838
営業外収益	259	264
営業外費用	159	158
4 経常利益	1,887	1,944
特別利益	139	152
特別損失	23	—
税金等調整前当期純利益	2,004	2,097
法人税、住民税及び事業税	683	673
法人税等調整額	△51	△30
当期純利益	1,371	1,454
4 親会社株主に帰属する当期純利益	1,371	1,454

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
5 営業活動による キャッシュ・フロー	331	3,037
6 投資活動による キャッシュ・フロー	△13	47
7 財務活動による キャッシュ・フロー	△450	△353
現金及び現金同等物の 増減額	△133	2,732
現金及び現金同等物の 期首残高	8,442	5,710
現金及び現金同等物の 期末残高	8,309	8,442

前期比較

④ 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益
鋼材価格の上昇等により、売上高は1,195億13百万円と増加いたしました。販売費及び一般管理費の増加等により営業利益17億87百万円、経常利益18億87百万円、親会社株主に帰属する当期純利益13億71百万円と減少しました。

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加48億47百万円、たな卸資産の増加22億85百万円、法人税等の納付6億97百万円等による資金減少はありましたが、税金等調整前当期純利益20億4百万円の計上、仕入債務の増加64億94百万円等により、3億31百万円の資金増加となりました。

⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入2億3百万円等による資金増加はありましたが、有形固定資産の取得による支出2億42百万円等により、13百万円の資金減少となりました。

⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払による支出4億49百万円等により、4億50百万円の資金減少となりました。

貸借対照表

単位：百万円

科目	当期	前期
	平成30年3月31日	平成29年3月31日
資産の部		
流動資産	51,558	44,351
固定資産	9,793	9,296
有形固定資産	3,866	3,686
無形固定資産	26	77
投資その他の資産	5,900	5,532
繰延資産	26	33
資産合計	61,378	53,680
負債の部		
流動負債	33,945	26,670
固定負債	5,466	6,359
負債合計	39,412	33,030
純資産の部		
株主資本	18,437	17,439
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	14,568	13,569
自己株式	△243	△243
評価・換算差額等	3,528	3,211
その他有価証券評価差額金	2,773	2,411
土地再評価差額金	755	799
純資産合計	21,966	20,650
負債及び純資産合計	61,378	53,680

損益計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高	119,511	106,329
売上原価	113,288	100,289
売上総利益	6,223	6,040
販売費及び一般管理費	4,396	4,212
営業利益	1,826	1,828
営業外収益	260	248
営業外費用	168	167
経常利益	1,917	1,909
特別利益	139	152
特別損失	23	—
税引前当期純利益	2,033	2,062
法人税、住民税及び事業税	682	670
法人税等調整額	△51	△29
当期純利益	1,403	1,421

事業ネットワーク

★：事業所

●：工場

◆：倉庫

■：グループ

※協力加工工場

(株)スズヤス

五十鈴(株)

(株)メタルワン・スチールサービス



九州支店
福岡市博多区

板付倉庫
福岡県粕屋郡



関西支店
大阪市
中央区

中国営業所
広島市南区

四国センター
西条市

四国営業所
西条市

金沢営業所
金沢市

石川技研工業(株)
白山市



本社／名古屋本店
名古屋市西区

静岡営業所
静岡市葵区



(株)空見スチールサービス
名古屋市港区

加納物流センター(株)・空見センター
名古屋市港区

札幌営業所
札幌市中央区

東北支店
北上市

(株)カノークス北上
北上市

新日本鋼業(株)
太田市

北関東支店
太田市

市川センター
市川市



東京支社
東京都中央区

加納物流センター(株)・豊田センター
豊田市

会社の概況

(平成30年3月31日現在)

商号 株式会社カノクス
英訳名：CANOX CORPORATION

創業年月日 明治30年12月1日

設立年月日 昭和23年1月29日

資本金 23億1千万円

従業員数 178名

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

主要な事業内容 鉄鋼及び鉄鋼関連商品の販売

役員

(平成30年6月27日現在)

代表取締役社長	高木清秀	取締役	柴田圭亮	専務執行役員※	首藤隆彦
取締役	首藤隆彦	取締役	宮島元子	常務執行役員※	富田清隆
取締役	富田清隆	常勤監査役	亀田善也	執行役員※	藤條修也
取締役	藤條修也	監査役	内野秀幸	執行役員※	松永敏博
取締役	松永敏博	監査役	平松直人	執行役員※	小西伸雄
取締役	小西伸雄				

(注) ※を付した執行役員は取締役を兼任しております。

ホームページのご案内

当社では、IR活動の一環として、ホームページを充実させております。

株主の皆様へは、よりスピーディーな情報提供を心掛け、決算情報や取引所への開示資料等を発表と同時にホームページにアップしています。

他にも企業情報等掲載していますので、皆様のアクセスをお待ちしております。

ホームページアドレス <http://www.canox.co.jp/>

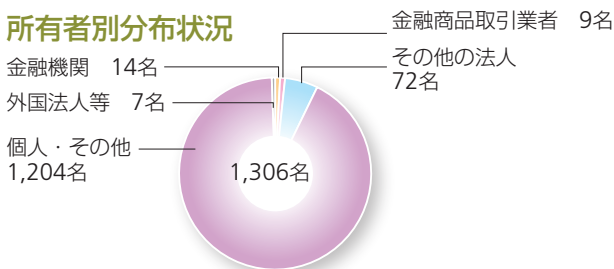


株式の概況

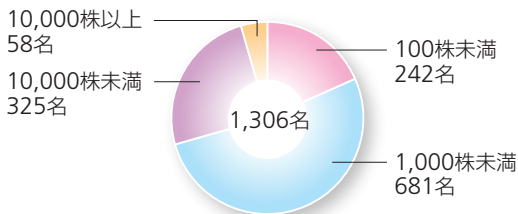
(平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数 19,443,000株
 発行済株式の総数 10,690,067株 (自己株式413,433株を除く)
 株主数 1,306名

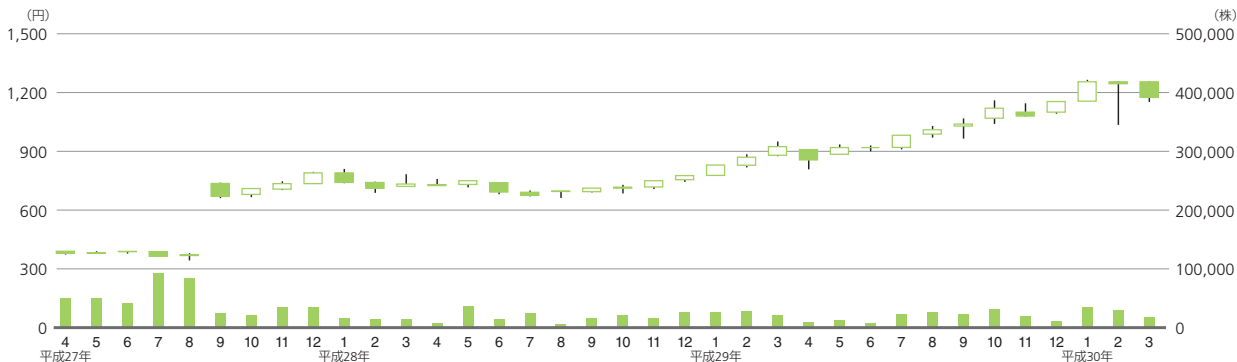
所有者別分布状況



所有数別分布状況



株価および出来高の推移



(注) 平成27年10月1日付で普通株式2株を1株に株式併合しております。

大株主の状況

(平成30年3月31日現在)

氏名又は名称	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社メタルワン	4,380,000	40.97
日新製鋼株式会社	1,707,770	15.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	455,724	4.26
新日鐵住金株式会社	414,250	3.88
株式会社愛知銀行	343,500	3.21
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	330,700	3.09
加納光太郎	228,235	2.14
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	131,400	1.23
株式会社中山製鋼所	131,250	1.23
株式会社第三銀行	114,875	1.07

- (注) 1. 当社は、自己株式413,433株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

株式についてのご案内

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 株主総会	定 時 毎年6月 臨 時 必要あるときに公告して開催する。
■ 配当金受領株主確定日	3月31日、9月30日
■ 公告方法	電子公告 (http://www.canox.co.jp/) ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。
■ 株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (通話料無料) 0120-232-711
同 郵 送 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、株主様個人の口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）でお取り扱いすることとなっておりますので、その口座管理機関にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

少額投資非課税口座（NISA 口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA 口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA 口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株式会社 カノクス

本 社	名古屋市西区那古野1-1-12	電話 052-564-3511	東 北 支 店	北上市相去町大松沢1-96	電話 0197-67-6429
名古屋本店	名古屋市西区那古野1-1-12	電話 052-564-3611	札幌営業所	札幌市中央区大通西6-2-6	電話 011-231-4651
東 京 支 社	東京都中央区日本橋本町3-6-2	電話 03-5651-5301	金沢営業所	金沢市北安江1-3-24	電話 076-263-5461
関 西 支 店	大阪市中央区本町2-1-6	電話 06-6266-1300	静岡営業所	静岡市葵区栄町3-1	電話 054-251-2171
九 州 支 店	福岡市博多区博多駅前1-4-1	電話 092-289-8631	中国営業所	広島市南区稲荷町3-20	電話 082-262-1133
北関東支店	太田市飯田町1303	電話 0276-48-5351	四国営業所	西条市今在家820-1	電話 0898-64-6095

